

SQL Server 2019

【エディション】

製品名	サポート可能な CPU (コア)の最大数	サポート可能な RAM の最大容量	データベースの最大容量
SQL Server 2019 Standard 日本語版 (※1)	4基(24コア)	128GB	制限なし
SQL Server 2019 Express(無償)	1基(4コア)	1GB	10GB

EXPRESSは使用メモリが最大1GBなのでデータまたはクライアント数が増えると「スピード」が遅くなる弱点があります。

【価格】

製品名	ライセンス区分	参考価格(税込)
228-11547 SQL Server 2019 Standard 日本語版 コア・ライセンス(4コア用) (CAL無制限)		1,147,657円
228-11479 SQL Server 2019 Standard 日本語版 サーバー ライセンス (CAL無)		116,743円
359-06870 SQL Server 2019 クライアント アクセス ライセンス (1USER CAL)		28,787円
228-11549 SQL Server 2019 Standard 日本語版 DVD (10CAL付)		477,580円

◇ライセンス区分(コア・ライセンスとサーバー/CALライセンス)

(1)コア・ライセンスで購入…従来のプロセッサライセンスに相当

SQL Server が動作するハードウェア上の物理プロセッサの合計コア数でコア・ライセンスを購入します。たとえば、2CPU搭載で1CPUあたり4コアの場合には8コア分のコア・ライセンスを購入せねばなりません。コア・ライセンスを購入した SQL Server には、無制限のユーザーまたはデバイスを続することができます。面倒な手続き(CALライセンスの購入)が不要というメリットはありますが、かなり高額になります。一般には接続台数(Webシステムを含む)が30台を超える大規模構成で導入されます。

(2)サーバー/CAL で購入…(推奨)

SQL Server が動作するサーバー数分(1ハードウェア毎)のサーバー ライセンスを購入します。また、SQL Server にアクセス(Webシステムを含む)するユーザーまたはデバイスの数だけのCAL も併せて購入します。CAL を購入したユーザーまたはデバイスは、社内にある複数の SQL Server にアクセスすることができます。一般には接続台数(Webシステムを含む)が30台未満の小規模構成で導入されます。

〔購入例1〕

受注出荷サーバx1、クライアント10台(受注出荷+進捗)のパソコンで利用する場合。

(ケース1)…サーバー/CALライセンス購入

- ・SQL Server 2019 Standard 日本語版 サーバー ライセンス x 1
- ・SQL Server 2019 Standard クライアント アクセス ライセンス x 10

(ケース2)…パッケージ購入

- ・SQL Server 2019 Standard 日本語版 (10CAL付) x 1

〔購入例2〕

受注出荷サーバx1、クライアント10台(受注出荷+進捗)、IP進捗30台(iPad等)で利用する場合。

(ケース3)…コアライセンス購入

- ・SQL Server 2019 Standard 日本語版 コア・ライセンス(4コア用) (CAL無制限)

〔購入先〕

- ・ライセンス購入の場合…富士通、NEC、キャノン、リコー、NTTデータ等マイクロソフト・パートナー企業。
- ・パッケージ購入の場合…アマゾン等ネットショップ。(ヤマダ電機など量販店等では販売されていないようです。)

(※)参考価格は、2021/4/30に「YAHOO!ショッピング」等にて調査した結果。